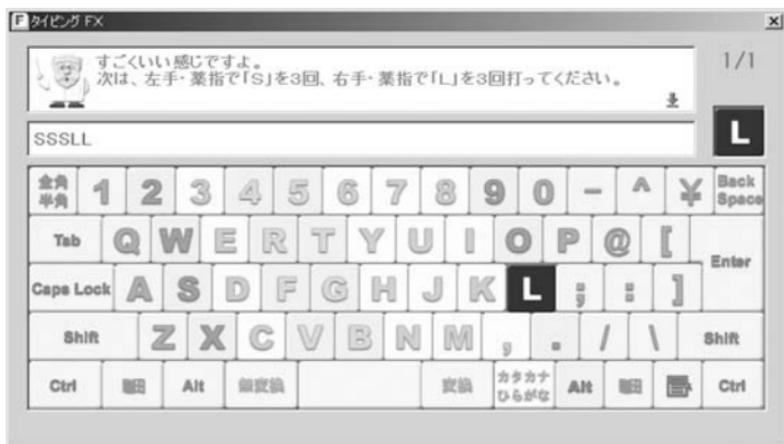


タイピングFX

改訂版



取り扱い説明書

目次

○インストール	1
○アンインストール・画面の説明	2~7
○実際にタイピングをはじめましょう	7~10
○問題の作成方法	10~12
○ローマ字表	13
○FAQ	14

はじめに

この度は株式会社デネットの商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ごさいます。

「やくだTOOL」シリーズは初心者の方をターゲットにした初心者の方のための
ユーティリティ-TOOLシリーズです。

製品内容について

○タイピング練習ソフト
「タイピングFX」

動作環境

○対応OS Windows98/Me/2000/XP

○CPU Pentium II 以上

○メモリ 64MB以上(XPの場合は128MB以上推奨)

○ディスプレイ 解像度800×600以上、16Bit HighColor(65536色)以上が表示可能なモニタ

○OCD-ROMドライブ 2倍速以上推奨

※日本語キーボードが必要です。

※印刷機能を使うためにはA4印刷に対応したプリンタが必要です。

ユーザーサポート

お問い合わせの際は、

○お客様の氏名・ご連絡先・本ソフトのシリアルナンバー

○本ソフトをお使いのパソコンやプリンタの環境

・動作環境の基準を満たしているか

・WindowsOS (Updateは行っているか)

・使用プリンタのメーカーと型番(最新のドライバソフトはインストールされているか・印刷可能領域の制限など)

○どのような手順で操作を行ったら、エラーが出たのか及びエラーメッセージの文章
(正確にお願いします)等マシンの状況などを出来るだけ詳しく書いていただき
メール・電話・Fax等でユーザーサポートまでご連絡ください。

E-mail:info@de-net.com

Tel:048-640-1002 Fax:048-640-1011

電話受付時間:10:00~17:30(土・日、祭日を除く)

下記サイトよりユーザー登録をして下さい。

登録にはシリアルナンバーが必要です、

シリアルナンバーは本マニュアルの表面に貼ってあります。

<http://www.de-net.com/pc>

インストール方法

コンピュータのCD-ROMドライブに本パッケージのCD-ROMを入れてください。コンピュータがCD-ROMを認識すると自動的にセットアッププログラムが起動します。お使いのコンピュータの設定やインストールされている別アプリケーションの影響により、自動で起動しない場合もあります。その場合デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックし、その中にある「CD-ROMドライブ」のアイコンをダブルクリックすると中に、Setup (Setup.exe) というアイコンがありますのでそれをダブルクリックするとセットアッププログラムが起動します。



インストールの際は、ウィルス対策等の常駐ソフトや起動している他のアプリケーションを必ず終了させてから、インストール作業を行ってください。

内容をよく読んで問題がなければ「OK」ボタンをクリックしてください。



インストール先を選択するダイアログボックスが表示されます。インストール先を変更しない場合は「次へ」ボタンをクリックし、インストール先を変更する場合は「参照」ボタンをクリックしてください。通常は、インストール先を変更しなくても結構です。



スタートメニューに登録するプログラムフォルダの名称を決めます。プログラムフォルダの名称を変更しない場合は「次へ」ボタンをクリックしてください。



セットアップ情報の確認のダイアログボックスが表示されますので内容を確認してください。「次へ」ボタンをクリックするとインストールを開始します。



インストールが正常に終了すると左のダイアログボックスが表示されますので「完了」ボタンをクリックしてください。

※Windows OSやマシンそのものが不安定な場合、インストールが正常に行われなかったり、本ソフトが正常に動作しないこともございます。

アンインストール方法

ソフトウェアをパソコンから削除(アンインストール)する場合は、「スタート」ボタンから「設定」→「コントロールパネル」を選択してください。「コントロールパネル」の中の「アプリケーションと追加と削除」アイコンをダブルクリックして、その中の「タイピングFX」を削除してください。(Windows XPの場合は、「スタート」ボタンから「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。)

画面の説明

メイン画面



①練習コース選択ボタン

- ◇入門編 タイピングについての基本的な説明や指の動かし方、簡単な入力を行います。タイピング初心者の方は、まずはここからはじめてみましょう。
- ◇練習編 実際にタイピングを行いながら、キー配列などを覚えていきます。
- ◇応用編 コンピュータ用語や四字熟語、県名等で本格的な入力練習ができます。応用編では練習する問題を選択することができます。

②ランキングボタン

応用1、2で行ったタイピングの成績がランキングで表示されます。個人ランキングの他にタイピングFXに登録している複数のユーザーの成績をまとめた総合ランキングが表示されます。

③推移グラフボタン

今までの練習結果をグラフで確認することができます。指ごとに色別で表示され、一日単位や、週、月毎の結果を確認することができます。

④ユーザー選択ボタン

新たにユーザーを登録したり、ユーザーの切り替えを行う事ができます。

⑤環境設定ボタン

タイピングFXの環境設定を行います。(詳細は4～7ページ)

⑥終了ボタン

本ソフトを終了します。

ランキング画面



- ⑦ 「応用その1」「応用その2」のそれぞれランキングを確認したい方のボタンをクリックすると「応用その1」「応用その2」のそれぞれの問題名が⑧の部分に表示されます。

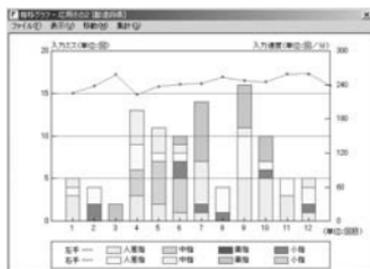
- ⑧ ⑦で選択した「応用その1」または「応用その2」の問題名が表示されます。(左図は応用その2の問題名) ランキングを確認したい問題の問題名を選択します。(左図は都道府県が選択されている状態です)



- ⑨
- | 総合ランキング (回/分) | | 個人ランキング (回/分) | |
|---------------|-----------------|---------------|----------------------|
| 1 | sato 258.2 | 1 | 04-03-03 10:09 258.2 |
| 2 | matsuda 256.4 | 2 | 04-03-03 10:07 237.9 |
| 3 | kawasaki 245.8 | 3 | 04-03-03 10:07 225.9 |
| 4 | ishino 244.6 | | |
| 5 | suzuki 224.1 | | |
| 6 | kaneko 222.2 | | |
| 7 | typing FX 212.8 | | |

ユーザー選択で選択されているユーザーは黄色い枠で囲まれ、ユーザー選択で選択されているユーザーのみの個人ランキングが右側に表示されます。(左図は[sato]がユーザー選択されている状態です)

推移グラフ画面



ファイルメニュー

閉じる(C) 推移グラフ画面を閉じます。

表示メニュー

練習その1(Q) 練習その2(Q) 推移グラフを表示するコース、または問題名を選択します。
 応用その1(4) 応用その2(5)

移動メニュー

前のデータ(F) 前のデータ(F) 練習の回数が多く、1回では推移グラフが全て表示されない場合に「前のデータ」を選択すると、前の推移グラフのデータを表示します。
 次のデータ(F) 次のデータ(F) 「次のデータ」を選択すると、次の推移グラフのデータを表示します。

集計メニュー

1回ごと(Q) 「1回ごと」「日単位」「週単位」「月単位」の集計結果を表示します。
 日単位(D) 週単位(W) 月単位(M)

環境設定画面



環境設定 (全般)

○ユーザー情報フォルダ

ユーザーについての情報(データ)ファイルの保存先を変更する場合、参照ボタンをクリックして保存先を選択します。

○ランキング情報フォルダ

本ソフトのランキング情報(データ)ファイルの保存先を変更する場合、参照ボタンをクリックして保存先を選択します。

○パスワード

現在タイピングソフトを起動させているユーザーのパスワードを変更することができます。パスワードを登録せずに本ソフトを使用することも可能です。

※パスワードを設定した場合は忘れないようにしてください。パスワードを忘れたユーザーで、本ソフトを起動することはできません。



○自動ログイン

本ソフトを起動した際、前回ソフト起動時で最後に使用していたユーザーが自動選択された状態でメイン画面が開きます。(ユーザー選択の画面は表示されずにメイン画面が開きます)

チェックマークがついていない場合は、ユーザー選択の画面が表示されます。



○キー設定

ローマ式、ヘボン式、ユーザー設定、かな入力などの入力方式を設定します。

※ユーザー設定の“設定”ボタンをクリックしますと、『ふ』や『っ』などの複数の入力方法がある文字について、入力方法を設定することができます。

○応用編でキーボードを表示する

初期設定時はチェックマークがついている状態です。

環境設定（キー設定）

チェックマークを外す事により、キーボードの配列が表示されない状態でタイピング練習を行う事ができます。



環境設定（サウンド）

キーの入力の音や、練習開始時の音の設定を行う事ができます。

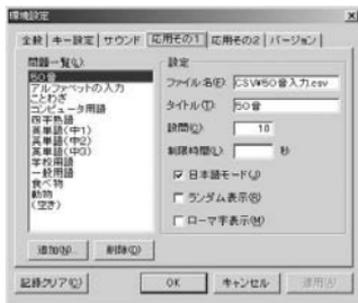
お使いのパソコンにサウンドデータが入っている場合は「参照」ボタンをクリックして、そのサウンドデータを選択することが可能です。

また、本ソフトインストール先フォルダの中にもサウンドデータがあり、チェックマークをつけただけの状態の場合ですと本ソフトの標準の音になります。

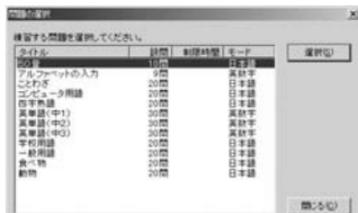
チェックマークがついていないとき、初期設定時は消音の状態になっております。



環境設定 (応用その1、その2)



ファイル名が『CSV50音入力.csv』の場合→『50音』と省略すると…



練習の時には『50音』と表示されます。

自分で作成した練習問題の追加や問題文の表示方法の設定等を行う事ができます。メイン画面の応用その1、その2に反映されます。

○問題一覧

選択した問題文が一覧表示されます。

○追加

ボタンをクリックすると、選択画面が表示され、CSVで作成された問題文のファイル(作成方法の詳細は10ページを参照)を選びますと問題一覧に表示されます。

○設定

・ファイル名

問題一覧の中から選択したファイルの場所とファイル自体の名称です。

・タイトル

タイピングソフト上での問題文のタイトルを入力することができます。たとえばファイル名が長すぎる場合、タイトル部分で短くする事も可能です。

例: 応用その1の画面

ファイル名が『CSV50音入力.csv』の場合→『50音』と省略すると練習の時には、『50音』と表示されます。

・設問

問題の出題数を設定する事ができます。

・制限時間

秒単位でタイピング時間を設定する事ができます。最大9999秒(約166分)設定できます。

・日本語モード

練習問題文に日本語が使われている場合、必ずチェックをつけてください。

・ランダム表示

練習問題文をランダムで表示させる場合にチェックをつけます。

・ローマ字表示

練習問題文の横にローマ字が表示されます。

例: あいうえお(AIUEO)

全ての設定が終わったら「適用」ボタンをクリックして「OK」ボタンをクリックしてください。



環境設定 (バージョン)

現在タイプニングソフトを使用しているユーザーの名前が表示されます。

実際にタイプニングをはじめましょう

入門編

操作[1] 「タイプニングFX」を起動します。



デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

ショートカットアイコンが消えてしまった場合

「スタート」→「プログラム」→「De-net」→「タイプニングFX」→「タイプニングFX」を選択します。

※WindowsXPでお使いの方
「スタート」→「すべてのプログラム」→「De-net」→「タイプニングFX」→「タイプニングFX」を選択します。

操作[2] 「タイプニングFX」を起動すると、ユーザー選択画面が表示されます。



ユーザーを初めて登録する場合、直接「名前」部分に登録したいユーザー名とパスワードを入力し「OK」ボタンをクリックします。

「新規に登録しますか」という画面が表示されるので「はい」を選択します。(複数のユーザーの名前を登録することができます)



すでにユーザー登録が行われている場合、リストからユーザーを選択→パスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。

操作[3] メイン画面から「入門編」を選択します。



入 門 編
クリック!

本ソフトメイン画面が表示されます。画面右側「入門編」ボタンをクリックするとキーボードの配列表の画面が表示され、画面上部に博士と説明文が表示されます。



説明文の終わりには必ず **↓** マークが右端に表示されます。選択項目がない場合は、キーボードのキー（どれでも可）をクリックしてください。



「何について聞きたいですか？」と表示されますので、知りたい項目の数字をキーボードから入力します。

ここでは、ホームポジションの「3」を打ってください。また、直接マウスで項目をクリックする事も可能です。

操作[4] 博士の説明後、実際に入力を行います。



「左手・人さし指で『F』を3回打ってください」と表示されたら、その通りに実際のキーボードのキーを打ちます。打つ毎に、画面上に赤字で表示されます。



打ち続けていくうちにミスした場合、ミスの回数が表示され、選択項目が表示されますので、画面に従い選択します。

操作[5] すべての入力が終わりました。



画面では“本コース終了後は、「練習その1」で繰り返し指の動かし方をマスターしてください。”と表示されています。どれかキーを打ってください。最初の入門編の選択画面が表示されます。『4』を打ちますと、メイン画面に戻ります。

練習その1・その2

操作[1]、[2]は入門編を参照してください。(詳細は7ページ参照)

操作[3] メイン画面から「練習その1」を選択します。



画面が表示されますので実際にキーを打っていきます。



操作[4] 入力がすべて終わると入力結果画面が表示されます。



「入力結果画面」と「入力速度画面」で、タイピングの状況を確認することができます。

○「入力速度画面」での個人ランキング

同じユーザーでタイピングを行った際、先ほどの入力が同じユーザーの記録の中でどのレベルに位置しているのかがわかります。

○「入力速度画面」での総合ランキング

他にユーザーを登録していた場合は、全部のユーザーの中で自分のタイピングがどのレベルに位置しているのかがわかります。

もう一度練習したい場合は「もう一度練習」ボタン、自分がどのように入力していたか確認をしたい場合は「リプレイを見る」ボタン、グラフで確認したい場合は「推移グラフ」ボタン、入力結果を印刷したい場合は「印刷」ボタンをそれぞれクリックしてください。



問題の作成方法

作成した問題を「タイピングFX」で使用する場合は「環境設定」で設定を行ってください。(詳細は6ページ)

メモ帳での作成方法

操作[1] 「メモ帳」を起動します。



「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」→「メモ帳」を選択します。

※WindowsXPでお使いの方
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を選択します。

操作[2] まずはじめに問題を入力します。



ここでは、タイピングと入力しました。

操作[3] 問題の入力が終わったところで半角のカンマ(,)を入力してください。

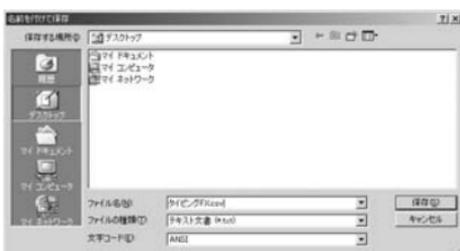


「タイピング,」と入力されました。

操作[4] 次に問題のふり仮名を全部ひらがなで入力してください。



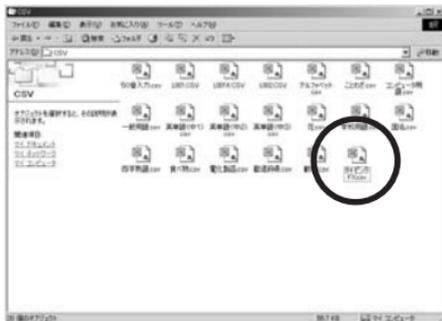
操作[5] ファイルを保存します。



ファイル名の後に「.csv」と半角で入力してください。

(ここでは「タイピングFX.csv」と入力します。)

操作[6] 操作[5]で保存したファイル(タイピングFX.csv)を移動します。



操作[5]で保存したファイル(タイピングFX.csv)を「マイコンピュータ」→「ローカルディスク(c)」→「Program Files」→「De-net」→「タイピングFX」→「CSV」というフォルダの中に移動してください。

※.csvの部分を拡張子といいます。拡張子はお使いのパソコンの設定によって表示されていない場合があります。

エクセルでの作成方法

操作[1] 「エクセル」を起動します。



エクセルの操作についての詳細はMicrosoftにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

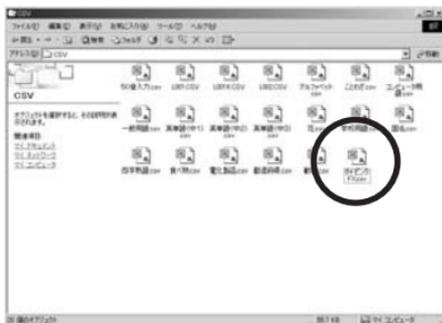
A列に問題を入力し、B列に問題のふり仮名を全部ひらがなで入力してください。

操作[2] 全部入力し終わりましたら保存します。



「ファイルの種類」というところで「CSV(カンマ区切り) (*.csv)」を選択してください。

操作[3] 操作[2]で保存したファイル(タイピングFX.csv)を移動します。



操作[5]で保存したファイル(タイピングFX.csv)を「マイコンピュータ」→「ローカルディスク(c)」→「Program Files」→「De-net」→「タイピングFX」→「CSV」というフォルダの中に移動してください。

※.csvの部分を拡張子といいます。拡張子はお使いのパソコンの設定によって表示されていない場合があります。

ローマ字表

ローマ式

あ A	い I	う U	え E	お O
か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ SA	し SI	す SU	せ SE	そ SO
た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO
な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は HA	ひ HI	ふ HU	へ HE	ほ HO
ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や YA	い I	ゆ YU	え E	よ YO
ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ WA	い I	う U	え E	を WO
ん NN				
が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ KYA		きゅ KYU	きよ KYO	
しゃ SYA		しゅ SYU	しよ SYO	
ちゃ TYA		ちゅ TYU	ちよ TYO	
にゃ NYA		にゅ NYU	によ NYO	
ひゃ HYA		ひゅ HYU	ひよ HYO	
みゃ MYA		みゅ MYU	みよ MYO	
りゃ RYA		りゅ RYU	りよ RYO	
ぎゃ GYA		ぎゅ GYU	ぎよ GYO	
じゃ ZYA		じゅ ZYU	じよ ZYO	
びゃ BYA		びゅ BYU	びよ BYO	
ぴゃ PYA		ぴゅ PYU	ぴよ PYO	

ヘボン式

あ A	い I	う U	え E	お O
か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ SA	し SHI	す SU	せ SE	そ SO
た TA	ち CHI	つ TSU	て TE	と TO
な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は HA	ひ HI	ふ FU	へ HE	ほ HO
ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や YA	い I	ゆ YU	え E	よ YO
ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ WA	い I	う U	え E	を WO
ん NN				
が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ ZA	じ JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ KYA		きゅ KYU	きよ KYO	
しゃ SHA		しゅ SHU	しよ SHO	
ちゃ CHA		ちゅ CHU	ちよ CHO	
にゃ NYA		にゅ NYU	によ NYO	
ひゃ HYA		ひゅ HYU	ひよ HYO	
みゃ MYA		みゅ MYU	みよ MYO	
りゃ RYA		りゅ RYU	りよ RYO	
ぎゃ GYA		ぎゅ GYU	ぎよ GYO	
じゃ JA		じゅ JU	じよ JO	
びゃ BYA		びゅ BYU	びよ BYO	
ぴゃ PYA		ぴゅ PYU	ぴよ PYO	

Q.ユーザーを登録するときに、パスワードを入力しないといけないのですか？

A.パスワードを入力しなくても本ソフトをお使いいただくことは可能です。

- *パスワードを入力することにより、複数の方で本ソフトをお使いいただく際、誤って他のユーザの設定等を変更してしまうことを防ぐことができます。

Q.入門編など、説明文章の表示速度が遅いので、もう少し早く表示させたい

A.説明文章の表示が行われているときに、キーボードの『Enter』キーを打ってみてください。若干ですが、表示が速くなります。

Q.登録されているユーザーを消去したい

A.ユーザーそのものを削除する機能はついておりませんが個人記録のみを削除する方法はございます。

ユーザーの選択画面を開き、個人記録を削除したいユーザー(例デネット太郎)を選びます。

個人記録を削除したいユーザーのメイン画面が開きましたら、画面下側の「環境設定」をクリックし、“環境設定”画面の左下“記録クリア”を選択します。ランキング画面での個人の記録はクリアされます。

※総合の記録から特定の個人記録を削除することはできません。

Q.最大何名までユーザー登録できますか？

A.特に制限はございません。

Q.英語のキーボードにも対応していますか？

A.本ソフトは日本語キーボードのみ対応しております。

Q.かな入力の際、キーボード上の設定をしなくてはいけないのですか？

A.特に設定を行う必要はありません。そのままお使いください。

Q.英数字の練習が行えないのですが

A.「環境設定」の「キー設定」でかな入力以外を選択すると英数字の練習を行うことができます。

Q.問題文（CSVファイル）作成の注意点は？

A.英数字の問題を作成する際は必ず半角サイズで作成

- ・日本語と英数字が混ざった問題文は、「環境設定」のところで問題文の設定を日本語モードにしてください。
- ・日本語と英数字が混ざった問題文の練習を行う際、かな入力での練習はできません。

以上の点をご注意願います。